

### ●小鳥さえずる森の深緑に染まる木陰の休息。



#### ○朝露に輝く大賀ハスの花、静かな池を彩る公園の夏の風景

古河公方公園では、今年も美しい大賀ハスの花が咲き誇る時期を迎えました。朝の静寂の中で咲き誇る蓮の花、蓮池一面に咲く姿は幻想的で、心を和ませてくれます。蓮の花は、日の出と共に咲き始め9時頃に満開になります。訪れる方々には、ぜひ早朝の涼しい時間帯にお越しいただき、この季節ならではの風景を楽しんでいただきたいと思います。蓮の花は、蕾から満開、そして散るまでの間に様々な形や色の変化を見せます。それぞれの段階で異なる美しさがあります。蓮の花の美しさを感じながら、ゆったりとしたひとときをお過ごしください。花情報は公園の公式 SNS (X (旧 Twitter)、Instagram) で発信しております、ご確認ください。

#### 古河公方公園の大賀ハス

大賀ハスとは、植物学者の大賀一郎博士が1951年に千葉県の泥炭層から発掘し発芽させたことで有名な蓮です。古河公方公園では、1975年に千葉市から株を譲り受けて育て、現在では、約3000㎡の蓮池に満開の花を咲かせています。



①満開の蓮池



#### ○園内名所案内「御所沼」

室町時代に古河公方足利成氏(シゲウジ)が築いた古河公方館跡の周囲に位置することから、御所沼と呼ばれて来ました。戦後の食糧難の時代には埋め立てられ水田に変わりましたが、1992-1996 年かけ公園の一部として御所沼の復元が行われ今に至ります。古い伝説では、ダイダラボッチの足跡との言い伝えがあり、また「星湖」の美称があります。現在では、水生生物や水鳥、貴重な湿地性植物(イヌタヌキモ、イトトリゲモなど)も確認されており、市民の憩いの場となっています。

※一部出典：中村良夫著 湿地転生の記より



②御所沼

#### ○7月の花のご紹介 ③ヤマユリ・④サルスベリ・⑤ガガブタ

③日本の代表的なユリで大型の白い花と甘い香りが特徴です。公方様の森に生えて居ます。④サルスベリは、夏に鮮やかなピンクや赤の花を咲かせる木です。滑らかな樹皮が特徴で中山台や松月院の四阿にあります。⑤水辺や池に生育する水草で、夏に小さな白い花を咲かせます。御所沼で見ることが出来ます。



③ヤマユリ



④サルスベリ



⑤ガガブタ

#### 7月の昆虫【クサカゲロウ】

アミメカゲロウ目クサカゲロウ科に分類される昆虫。黄緑の体に綺麗な透明でレース状の羽根を持ち、夏から秋にかけて見られます。卵は、如来(にょらい)が三千年に一度現れる時に咲く憂曇華(うどんげ)という伝説の花に似ていることから、ご利益のある虫とも言われています。また、成虫は夜行性で、主に花の蜜や花粉を食べますが、幼虫は、たくさんのアブラムシやハダニなどを食べて成長する益虫にもなり、いいことづくしの昆虫さんです。公園では、森や野原、桃林で見かけます。



★クサカゲロウ



★クサカゲロウ卵

#### ★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga\_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou\_park

#### Instagramアカウント



#### X (旧Twitter) アカウント

